



平成20年度

海洋だより

京都府立海洋高等学校

URL: <http://www1.kyoto-be.ne.jp/kaiyou-hs/>
TEL: 0772-25-0331

海洋祭開催

8月31日(日)と9月1日(月)の両日、海洋祭が実施されました。初日は文化祭の部で、木彫りやモザイク壁画などの展示、第3学年による模擬店や「みずなぎ」体験乗船が実施されました。

2日目は体育祭の部とし、各種競技やカッターレース決勝戦とエキジビションマッチとして、本校カッター部と校内腕自慢のメンバーによるレースが行われました。さすがに、カッター部艇のスピードはとても速く、漕ぎ方もダイナミックなものでした。

競技の部でも大いに盛り上がり、最後の色別対抗リレーで「白組」が優勝を決めました。見事な大逆転で劇的な幕切れでした。

途中から体育館で行った昨年の体育祭とは違い、天候にも恵まれ、歓声が絶えず、気持ちのよい海洋祭でした！



【PTAカレー販売】



【色別対抗リレー】

さあ！進路実現へ！

今年も9月中旬を迎え、いよいよ就職試験が始まります。例年どおり、約半数にあたる40名程が就職を希望しています。進学では、難関大学を希望している生徒もいます。進学を希望している生徒は来年1月下旬頃まで入学試験が続きます。それぞれの希望進路を獲得するまで、準備をしっかりと行き、長丁場を乗り切ってください！

迫る！北海道修学旅行



9月29日(月)から4泊5日の行程で第2学年の修学旅行が実施されます。過去8年連続沖縄に行っていた修学旅行が大きく変更されました。亜熱帯の沖縄から亜寒帯の北海道へ、生物相の全く違う地域への変更は、新たな驚きの連続になると思います。スケールの大きな北海道を存分に味わっていただきたいと思います。

また、現在日本の動物園で最も入場者の多い「旭山動物園」にも行きます。入園に先だって、研修を深めるために、9月24日(水)には、旭山動物園の飼育係の方とコンピューターを使ったテレビ講義も行います。海洋高校生にとって、憧れの職業の一つでもある動物園スタッフとの直接対話は期待される取組です。

レスリング府下大会開催



9月13日(土)と14日(日)の2日間、レスリング府下大会グレコローマン選手権大会が、本校格技場で行われました。本校生徒は大声援を受けるホームの利を生かし、大活躍をしました。結果は以下のとおりです。

☆グレコローマンの部					
《優勝》					
60kg級	新井 慧	120kg級	中村 翔太		
《準優勝》					
55kg級	田中 怜	60kg級	田中 力		
66kg級	成田 隼	84kg級	安田 章紘		
《第3位》					
66kg級	宮本 和也	74kg級	竹本 和義		
74kg級	大櫃 孝司	96kg級	山本 弾		
☆ビギナーの部					
《優勝》					
66kg級	井本 草平	84kg級	岡野 真丈		
120kg級	宇野 友章				
《準優勝》					
55kg級	井上 秀磨	60kg級	池田 政裕		
《第3位》					
55kg級	袖山 大輝	74kg級	大嶋 健太		

2年集中実習を実施！

9月10日(水)～12日(金)の3日間、今年度2回目の集中実習を実施しました。各学科コースの学習内容を深化させ、第3学年での研究に結びつける重要な内容を含むものです。真剣な取組ができたのではないかと思います。

海洋工学科 航海船舶コース

京都府立海洋センターとの共同研究である「環境と資源に優しい網」による底曳網漁業実習を行いました。網のデータを多く得て、更に改良を加えた質の高い網を考案していきます。漁獲物は、「海洋市場」に出しました。



海洋工学科 海洋技術コース

中施工実習室(水深10mプール)で培ったスクーバダイビング技術を初めて実際の海で試しました。プールと全く違う状況が生まれ、危険度も飛躍的に増します。



海洋資源科 栽培環境コース

間人小学校の児童達が、栽培漁業を学びその一環として、ヒラメの稚魚1600尾を放流しました。放流をとおして、地元へ貢献する取組です。



海洋資源科 食品経済コース

地元産のアジを使用した「てんぷら」と、明太子入りフランスパンを製造しました。地元の食材を生かした、新製品に意欲的に取り組んでいます。



なお、海洋科学科の集中実習は、9月18日(木)からと、25日(木)からの、共に2日間ずつ実施します。底曳網実習と定置網実習、それに漁業士の方との交流会を行います。

